



阪養会・阪特会だより



令和5年11月 阪養会・阪特会発行

会長 山本 千里

阪養会・阪特会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？平成30年度以降、阪養会・阪特会を開催できないまま6年がたってしまいました。1年に1度同窓生の皆さんにお会いするを楽しみに活動してきたので、寂しい思いでいっぱいです。

令和6年(2024年)に阪神特別支援学校は、創立60年、分教室は開設10年を迎えます。その記念として令和6年11月に「創立60周年を祝う会」を行います。それに向けて学校・PTA・阪養会阪特会が協力して、児童生徒の皆さんの楽しい思い出になるよう準備を進めています。阪養会・阪特会からは昨年お知らせしたようにすでに演台を寄贈し、入学式や卒業式等で活躍しています。

以前から阪養会・阪特会の在り方を見直すため、学校とも相談しながら役員会で検討を進めてきましたが、今後は阪養会・阪特会の集いを開催しないことになりました。伝統ある会を中止することは、非常に苦しい決断となりました。ご理解・ご了承ください。詳細については、別途記載しています。阪養会・阪特会だよりも今号が最終となります。学校行事や後輩たちの活躍の様子は、今後は学校のホームページからご確認ください。

同窓生の皆様が、それぞれの場所でご活躍されることを願っています。

☆お知らせ☆



「祝う会」に向けて、横断幕ができました！

PTAに本校と分教室に1張りずつ作っていただき、キャッチフレーズの～笑顔あふれる、心をつなぐ～は、児童生徒で決めました。



本校

本校では、4号棟道路側のフェンスに設置しています。

分教室は、校舎西側尼宝線に面した道路のフェンスに設置しています。

お近くをお通りの際は、ご覧くださいね。



分教室





阪養会・阪特会のみなさまへ



校長 小俣 千智

平素は、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただきありがとうございます。

卒業生のみなさん、お元気ですか？それぞれの場所でご活躍されていることと思います。さて、今年5月、新型コロナウイルス感染症は5類へと移行し、4年ぶりに学校に活気が戻ってきました。

一方で、令和5（2023）年4月現在の児童生徒数は、小学部100名、中学部98名、高等部193名（訪問学級3名、分教室45名を含む）合計391名です。近年児童生徒数が増加し、体育大会は学部ごとに平日開催、学習発表会は学年により舞台発表あるいは動画発表で開催することとしております。このような状況から、阪養会・阪特会の皆様に体育大会等のご案内もできず、再会できなかったことが残念でなりません。

また、これまで、本校を卒業された先輩方や保護者の皆さん、地域の方、そして教職員が協力して作り上げてきた、伝統ある素晴らしいイベント「阪養会の集い」は、たくさんの人たちが一堂に会し、近況を報告したり、仲間と過ごした日々を振り返ったりする貴重な機会となっていました。ところが、平成30年以降、天候や新型コロナウイルスの影響で中止せざるを得ない状況が続き、昨今は役員の方々の引継ぎ等の課題も生じていることから、役員の皆様を中心に話し合いを重ね、令和6年をもって、その在り方を大きく変更していくこととなりました。苦渋の決断ではありますが、学年ごとの集いに期待したいと思います。

このような中、本校は、令和6年度創立60年、分教室開設10年を迎えます。ご存じのとおり、昭和53年に県立こやの里特別支援学校が開設されるまでは、阪神地域の6市1町の子どもたちが在籍していました。グラウンドプール付近には、くすのき、桜、松、さざんかなど、6市1町の木が植えられ、子どもたちの成長を今も見守っています。



来年11月に周年記念行事等を開催するため、今年度から阪養会・阪特会、PTA、学校の三者で実行委員会を立ち上げ、企画立案を進めています。まずは、60周年等を地域に向けて発信しようと横断幕を学校フェンスに設置しました。こういった取組を機に、さらに地域とともに歩む、地域に愛される皆さんの母校を発展させていきたいと思っています。引き続き、阪神養護学校並びに阪神特別支援学校卒業生及び関係の皆様には、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。

北グラウンドプール付近のくすのき、桜など



教頭 後藤 聡子

令和5年4月より、分教室の教頭として赴任しました後藤聡子と申します。私は随分前(若い頃)に阪神養護学校の本校と尼崎分校(平成7年度まで)に勤務していました。久しぶりに学校に足を踏み入れると、校舎が増えましたが校門から入った風景は変わらず、とても懐かしうれしく感じました。当時は高等部を受け持っており、毎日のランニングや授業など、生徒たちと過ごした思い出がよみがえってきました。卒業生の皆さんや保護者の皆さんはお元気に活躍なさっていることと思います。昔も今も多くの生徒たちと教職員が賑やかに学校生活を送る阪神特別支援学校は変わらないですね。

来年は創立60年、分教室開設10年を迎えるという伝統ある学校の一員として、阪養・阪特らしさを継承しつつ、分教室の教育の充実に尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

今後の阪養会・阪特会の活動について（お知らせ）

1 「阪養会・阪特会の集い」について

阪養会・阪特会は、昭和 56 年以来、1 年に 1 回同窓生が同級生との再会と近況を伝えあう場として、学校の協力をいただき開催を継続してまいりました。しかしながら、ご承知の通り、平成 30 年度以来、2 年続けての台風、その後のコロナ感染防止のため、ここ 6 年間で中止せざるを得ない状況となっています。その間も会の再開に向けて検討を続けてきましたが、役員会で協議の結果、今後も学校で 600 人規模の集会を再開することは、非常に難しいとの結論に至りました。アフターコロナの安全確保の在り方、6 年間の空白により役員の引き継ぎが難しくなったこと、また、会の運営をよくご存じてあった先生方の異動等が理由です。

伝統ある会が終了することはとても残念ではありますが、ご理解ご了承をお願い致します。

2 「阪養会・阪特会の組織」について

阪養会・阪特会の運営組織として、会長以下 28 名の役員が活動が続けてまいりましたが、この度、上記の会の終了に伴い、組織も廃止いたします。なお、廃止の時期につきましては、現在、令和 6 年 11 月開催予定の創立 60 周年記念行事実行委員会に、会長および役員が参加しておりますことから、令和 6 年 11 月の「祝う会」が終了した時点で、終了・解散と致します。

なお、会計残高については、PTA にお渡しし、PTA 周年・記念行事会計費に繰り入れて執行していただくこととしますので、会員の皆様にはご理解の程よろしくをお願いいたします。令和 6 年 11 月に会計を締め次第、会計報告を学校のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

3 令和 5 年度卒業生以降の同窓会（集い）について

今後の阪養会・阪特会の「集い」および「組織」は廃止となるため、令和 5 年度卒業生より、学年毎に卒業時に世話役を募り、卒業後同窓会（集い等）を有志で開催するか検討していただくこととなりました。